貸与型奨学資金（新型コロナウイルス感染症対策）

～エールなすしおばら　打倒コロナ！がんばれ「勝学生」応援プラン～

令和２年度　那須塩原市奨学生募集要項

○　那須塩原市では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、経済的支援が必要となった学生を対象として、奨学生を募集します。

○　市の貸与型・給付型奨学資金及び市以外の奨学資金との併用が可能です。

１　制度の趣旨

○　新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、修学に当たり経済的支援が必要となった学生に対し、学資の貸与を行うことによって、修学の機会を失わせないことを目的としています。

２　申込資格

○　新型コロナウイルス感染症の影響により家計が急変し、学業継続のため、経済支援が必要となった人のうち、次の❶～❻の全てに該当する人

❶　学校教育法（昭和２２年法律第２６号）の規定に基づく高等学校、高等専門学校、短期大学、大学又は専修学校の専門課程に在学する人

※　国内・海外の大学及び学年は問いません。

❷　修学に当たり経済的支援が必要な人で、父母又はこれに代わって家計を支えている人の直近３カ月間の平均所得金額に１２を乗じて得た額が、別紙１表３の収入基準額以下であること。

（別紙１「所得計算表」により算出することができます。）

❸　本人又は保護者が市内に住所を有する人

❹　市税を滞納していない人

❺　次の要件を満たす連帯保証人（２名）を付すことができる人

○　１名は保護者、ほか１名は別世帯の者であること。

○　成年者で独立の生計を営む者であること。

○　確実な保証能力があること。

※　特別な事情により連帯保証人の資格を欠いた場合は、別の連帯保証人を付すことになります。

❻　申込みに当たり、「７　申込手続」に掲げる必要な書類を提出できる人

３　貸与金額（❶～❸のいずれかを選択）

❶　月額１万８千円

❷　月額３万円

❸　月額５万円

4　貸与条件

○　無利子

○　貸与期間は、令和２年４月から、その学校の正規の修了月までの間で、申請者の希望する期間とし、原則として３か月分をまとめて口座に振り込みます。（例：７、８、９月分を８月に振込）

※　本年度に限り、半期分を一括で振り込みます。

5　貸与人数

○　３５人程度

6　返還方法及び期間

○　卒業の翌月から起算して、貸与期間の４倍の期間以内に返還

○　月賦、半年賦、年賦のいずれかの方法により返還

7　申込手続

⑴ 提出書類

○　次の❶～❺を提出してください。

❶　奨学資金貸与申請書（様式第１号の 2）

※　特別控除欄の記入は、「特別控除額表（別紙１（表２））」を参照してください。

❷　在学証明書又は有効な学生証の写し等

❸　本人の納税証明書

❹　同一生計を営む者の全員の住民票の写し

❺　同一生計を営む者の収入を証明する書類（直近３カ月の給与明細等）

○　❸、❹については、別紙「納税証明等取得承諾書」の添付があれば、提出の必要はありません。

○　また、様式は、市役所ホームページ（http://www.city.nasushiobara.lg.jp/）からもダウンロードできますので、御利用ください。

⑵ 提出先（郵送可）

○　那須塩原市教育委員会事務局　教育総務課総務係

〒329-2792　那須塩原市あたご町２－３　（那須塩原市役所　西那須野庁舎３階）

⑶ 受付期間

○　令和２年５月１９日（火）～当面の間

8　貸与決定後の手続

○　貸与決定通知があったときは、誓約書（様式第４号）を提出してください。

9　注意事項

○　この奨学資金は、申請者本人が貸与を受け、卒業後に返還していくものです。貸与金の返還は、申請者が行うことになります。また、返還の開始時に奨学資金借用証書（様式 7 号）、連帯保証人の印鑑証明書及び奨学資金返還明細書（様式 8 号）を提出してください。

≪参考≫　貸与型奨学資金を借りてから、返還が終わるまで

■　貸与について

例えば、大学４年間、月額５万円の貸与を受けた場合、貸与総額は 240 万円となります。

【計算方法】

・貸与総額　：　2,400,000 円　（50,000 円×４年間（48 月））

■　返還について

例えば、貸与期間４年間の４倍である 16 年間で月賦で返還する場合、月々の返還金額は、月額 12,500 円となります。

【計算方法】

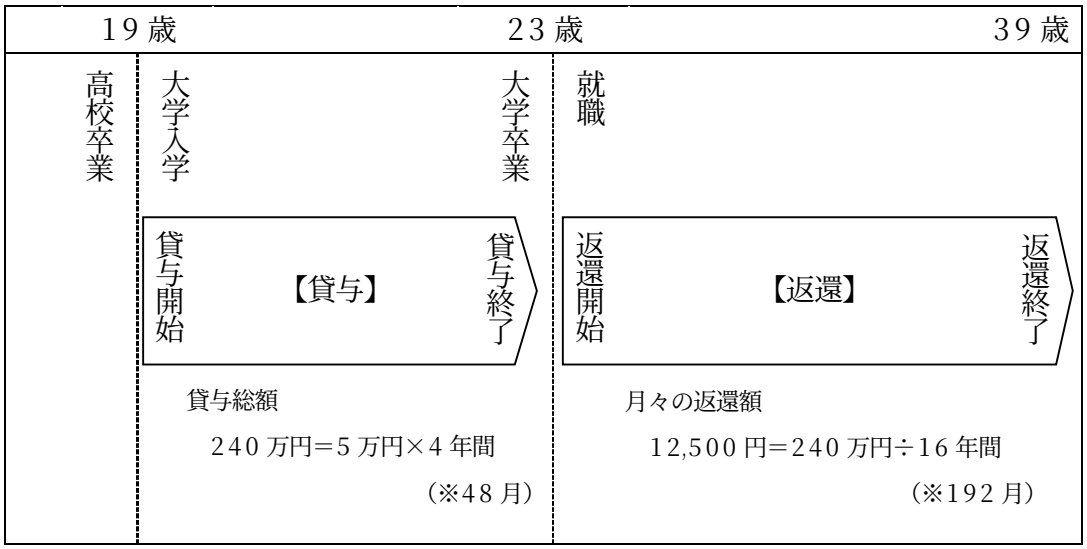
・貸与総額　　：　2,400,000 円　（50,000 円×４年間（48 月））

・返還期間　　：　16 年間　（貸与期間４年間×４倍）

・返還総月数　：　192 月　（16 年間×12 月）

・月々の返還金額：　12,500 円　（2,400,000 円÷192 月）

【イメージ図】



※　大学卒業後、大学院等へ進学する場合は、申請により在学期間中の返還が猶予されます。
　この他、返還に関する御相談は、教育総務課総務係までお問い合わせください。

【申込み・問合せ】
那須塩原市教育委員会事務局
教育総務課総務係
〒329-2792 那須塩原市あたご町 2-3
TEL0287-37-5231
http://www.city.nasushiobara.lg.jp/

所　得　計　算　表

手順１　所得を計算する

（１）給与所得のみの場合（下記表１を参照）

父母ともに給与所得者の場合は、給与収入金額が多い方に表１の給与所得控除額算定式Ａを適用し、少ない方にＢを適用する。父母の一方のみが給与所得者の場合はＡを適用する。

・父の給与収入　－　算定式Ａ又はＢで算出した控除額　＝　控除後の父の給与所得

万円　－　万円　＝　万円

（万円未満切り捨て）　（万円未満四捨五入）

・母の給与収入　－　算定式Ａ又はＢで算出した控除額　＝　控除後の母の給与所得

万円　－　万円　＝　万円

（万円未満切り捨て）　（万円未満四捨五入）

ⓐ父母の合算　万円

（２）給与所得以外の場合（農業・不動産等）

・父の農業等所得　万円
（万円未満切り捨て）

←複数の所得がある場合は合算してください。
例　農業所得：200 万円　＋　不動産所得：50 万円　＝250 万円

・母の農業等所得　万円
（万円未満切り捨て）

ⓑ父母の合算　万円

※給与所得と給与所得以外の両方の収入がある場合

給与所得は（１）の方法で、給与所得以外の所得は（２）の方法で所得を算出し、合算してください。（ ⓐ+ ⓑ）

表１　給与所得控除額算定式Ａ・Ｂ　※　　の部分は特に注意する

給与所得控除額算定式Ａ

年間給与収入金額	控除額
400 万円以下	年間給与収入金額×0.2+214 万円
※年間給与収入金額が 268 万円未満の控除額は年間給与収入金額と同額	
400 万円を超え 781 万円以下	年間給与収入金額×0.3+174 万円
781 万円を超える場合	408 万円

給与所得控除額算定式Ｂ

年間給与収入金額	控除額
65 万円以下	年間給与収入金額と同額
65 万円を超え 180 万円以下	年間給与収入金額×0.4
（ただし、控除額が 65 万円未満の場合は 65 万円）	
180 万円を超え 360 万円以下	年間給与収入金額×0.3+18 万円
360 万円を超え 660 万円以下	年間給与収入金額×0.2+54 万円
660 万円を超え 1,000 万円以下	年間給与収入金額×0.1+120 万円
1,000 万円を超え 1,500 万円以下	年間給与収入金額×0.05+170 万円
1,500 万円を超える場合	245 万円

手順２　特別控除額を計算する（下記表２を参照）

特別控除の該当する項目（ア～キ）に金額を記入し、合計を計算してください。

ア　母子家庭・父子家庭	万円	オ　主たる家計支持者の別居（続柄　　）	万円
イ　就学者	万円	カ　災害	万円
ウ　障害者（　　級）	万円	キ　本人を対象とする控除	万円
エ　長期療養者	万円	ア～キ　合計	ⓒ　　万円

表２　特別控除額表

区分	控除の事由		特別控除額			
A 世帯を対象とする控除	ア　母子・父子世帯であること					99万円
	イ　就学者のいる世帯であること（就学者１人につき）		小学校			31万円
			中学校			46万円
			区分		自宅通学	自宅外通学
			高等学校	国・公立	39万円	69万円
				私立	88万円	118万円
			高等専門学校	国・公立 1～3年次	39万円	69万円
				国・公立 4・5年次	43万円	72万円
				私立 1～3年次	88万円	118万円
				私立 4・5年次	87万円	116万円
			大学	国・公立	74万円	121万円
				私立	133万円	180万円
			専修学校	高等課程 国・公立	39万円	69万円
				高等課程 私立	88万円	118万円
				専門課程 国・公立	36万円	81万円
				専門課程 私立	102万円	147万円
	ウ　障害のある人がいる世帯であること		障害のある人1人につき			99万円
	エ　長期療養者のいる世帯であること		療養のため経常的に特別な支出をしている年間金額			
	オ　主たる家計支持者が別居している世帯であること		別居のため特別に支出している年間金額 ただし、71万円を限度とする			
	カ　震災・風水害・火災その他の災害または盗難等の被害を受けた世帯であること		日常生活を営むために必要な資材または生活費を得るための基本的な生産手段（田・畑・店舗等）に被害があって、将来長期にわたって、支出増または収入減になると認められる年間金額			
B 本人を対象とする控除	キ　本人を対象とする控除	高校等申込者				39万円
		大学等申込者				74万円

備考　1　A欄の「(イ)就学者のいる世帯であること」による控除は、申込者を除く世帯員を対象とする。
　　2　A欄の「(イ)就学者のいる世帯であること」の大学には、短期大学・大学院を含む。
　　3　A欄の控除については、該当する特別の事情が2つ以上ある場合は、これらの特別控除額を合わせて控除することができる。
　　4　申込時において、子供が2人を超える世帯については、その超える人数につき、B欄の該当する控除額に５０万円を加えた額を乗じた額をさらに控除できることとする。
　注）　A欄の「(ウ)障害のある人がいる世帯であること」による控除は、申込者も含む。

＜奨学資金給付（貸与）申請書の特別控除欄への記入について＞

○　控除の事由で該当する項目（ア～キ）を特別控除欄に記入してください。　※複数選択可

注）　B欄の（キ）本人に対する控除は申請者全員が対象です。（キ）は必ず全員記入してください。

手順３　収入基準額と比較する（下記表３を参照）

父母の所得の合算	－	特別控除額	＝	**認定所得金額**	≦	収入基準額
ⓐ+ⓑ　万円	－	ⓒ　万円	＝	万円	≦	万円

収入基準額以下である必要があります。

表３　収入基準額表

世帯人員	収入基準額（円）
１人	２，８６０，０００
２人	４，５５０，０００
３人	５，２７０，０００
４人	５，７２０，０００
５人	６，１７０，０００
６人	６，５００，０００
７人	６，７７０，０００
８人以上の場合	１人増すごとに２７０，０００円を、世帯人員７人の収入基準額（６，７７０，０００円）に加算

様式第１号の２

年　　月　　日

奨学資金貸与申請書

那須塩原市教育委員会　様

那須塩原市奨学資金の貸与を受けたいので、関係書類を添えて次のとおり申請します。

申請者	フリガナ		生年月日	年　月　日生（　歳）
	氏　名	㊞		
	住　所	〒　－ TEL　－　－ 携帯　－　－		
	学校名	学校　学部　学科　学年在学		
	修業年限	年	希望月額	18,000 円　30,000 円　50,000 円
	貸与を希望する期間	年　月　から　年　月　まで		
連帯保証人	氏　名	㊞	本人との関係（続柄）	
	住　所	〒　－ TEL　－　－ 携帯　－　－		
	氏　名	㊞	本人との関係（続柄）	
	住　所	〒　－ TEL　－　－ 携帯　－　－		

同一生計の家族	就学者を除く家族	続柄	氏　名	年齢	本人と同居・別居	職業	収入	
					同居・別居			
					同居・別居			
					同居・別居			
					同居・別居			
	本人を除く就学者	続柄	氏　名	年齢	設置区分	学校名	学年	通学別
					国・公・私			自宅・自宅外
					国・公・私			自宅・自宅外
					国・公・私			自宅・自宅外

家計が急変し、奨学資金を受けなければならない理由			
特別控除	有・無	種別等	ア・イ・ウ・エ・オ・カ・キ

（注）　連帯保証人のうち１人は、保護者又はこれに代わる者にしてください。

貸与（新型コロナウイルス感染症対策）用

納 税 証 明 等 取 得 承 諾 書

那須塩原市長　様

私は、令和２年度那須塩原市奨学資金（新型コロナウイルス感染症対策）の貸与申請に関わる事務手続として、次の証明を取得することを承諾します。

また、奨学資金の貸与が決定した場合には、返還終了まで住民情報について取得することを承諾いたします。

１　同一生計を営む者の住民票の写し（本籍地の記載のあるもの）
２　同一生計を営む者の所得・課税証明書
３　本人の納税証明書

令和　　年　　月　　日

本人　氏名＿＿＿＿＿＿＿＿㊞　生年月日＿＿＿＿＿＿＿＿
住所＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
電話番号＿＿＿＿＿＿＿＿

世帯員
(連帯保証人)　氏名＿＿＿＿＿＿＿＿㊞　続柄＿＿＿＿
住所＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
生年月日＿＿＿＿＿＿＿＿

世帯員　氏名＿＿＿＿＿＿＿＿㊞　続柄＿＿＿＿
住所＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
生年月日＿＿＿＿＿＿＿＿

世帯員　氏名＿＿＿＿＿＿＿＿㊞　続柄＿＿＿＿
住所＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
生年月日＿＿＿＿＿＿＿＿

世帯員　氏名＿＿＿＿＿＿＿＿㊞　続柄＿＿＿＿
住所＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
生年月日＿＿＿＿＿＿＿＿

世帯員　氏名＿＿＿＿＿＿＿＿㊞　続柄＿＿＿＿
住所＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
生年月日＿＿＿＿＿＿＿＿

様式第４号（第４条関係）

年　　月　　日

誓約書

那須塩原市教育委員会　様

この度、那須塩原市奨学生として奨学資金（月額　　円）の貸与を受けるに当たり、条例、規則等を遵守し、かつ、返還の義務を確実に履行することを誓約します。また、奨学資金借用証書を提出しないときは、教育委員会が指定した期日までに全額を一括返還します。

２回以上返還を怠ったときは、期限の利益を喪失し、残額全額を一括して請求を受けても異議はありません。

<table>
<tr><td rowspan="3">本人
（借用人）</td><td>住所</td><td colspan="3">〒　　－</td></tr>
<tr><td>氏名
（フリガナ）</td><td colspan="2">㊞</td><td>決定番号</td></tr>
<tr><td>TEL　　－　　－
携帯　　－　　－</td><td colspan="2">生　年
月　日</td><td>年　　月　　日</td></tr>
<tr><td rowspan="3">連帯保証人</td><td>住所</td><td colspan="3">〒　　－</td></tr>
<tr><td>氏名
（フリガナ）</td><td colspan="2">㊞</td><td>TEL　　－　　－
携帯　　－　　－</td></tr>
<tr><td colspan="2">本人との関係（続柄）</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="3">連帯保証人</td><td>住所</td><td colspan="3">〒　　－</td></tr>
<tr><td>氏名
（フリガナ）</td><td colspan="2">㊞</td><td>TEL　　－　　－
携帯　　－　　－</td></tr>
<tr><td colspan="2">本人との関係（続柄）</td><td colspan="2"></td></tr>
</table>

（注）１　連帯保証人のうち１人は、保護者又はこれに代わる者にしてください。

２　連帯保証人の印鑑登録証明書を添付し、印鑑登録証明書の印で押印してください。

様式第７号（第１１条関係）

年　　月　　日

奨学資金借用証書

収入印紙	㊞	借用金額	百	十	万	千	百	十	円

那須塩原市奨学生として、上記金額を借用しました。ついては、条例、規則等を遵守し、別紙奨学資金返還明細書のとおり、滞りなく返還することを証し、本書を提出します。

２回以上返還を怠ったときは、期限の利益を喪失し、残額全額を一括して請求を受けても異議はありません。

本人（借用人）	住所	〒　　－		
	フリガナ 氏名	㊞	決定番号	
	TEL 携帯	－　　－ －　　－	生年月日	年　　月　　日
連帯保証人	住所	〒　　－		
	フリガナ 氏名	㊞	TEL 携帯	－　　－ －　　－
	本人との関係（続柄）			
連帯保証人	住所	〒　　－		
	フリガナ 氏名	㊞	TEL 携帯	－　　－ －　　－
	本人との続柄（続柄）			

那須塩原市教育委員会　様

（注）１　連帯保証人のうち１人は、保護者又はこれに代わる者にしてください。

２　連帯保証人の印鑑登録証明書を添付し、印鑑登録証明書の印で押印してください。

様式第８号（第１１条関係）

年　　月　　日

奨学資金返還明細書

那須塩原市教育委員会　様

本人　決定番号
住所
氏名　　㊞
電話番号（自宅・携帯）

借用しました奨学資金について、次のとおり返還します。

１　返　還　金　　円

２　返還期間及び方法

⑴ 返還期間　　年

⑵ 返還方法　　年賦　・　半年賦　・　月賦（　　円×　　回）

３　返還開始日　　年　　月　　日

４　返還完了日　　年　　月　　日